



いよいよ4月よりコミュニティ・スクール(CS)始動

寒さの中にも、春の気配を少しずつ感じるようになってまいりました。いよいよ3月です。学校では、卒業式に向けた準備が進み、子どもたちにも1つ上の学年にあがる心構えができてきているようです。朝、すれ違ったときに元気にあいさつを交わす6年生。立派に成長した子どもたちを中学校に送り出せる喜びと、共に過ごせる時間が減っていく寂しさを感じながら彼らの姿を目に焼き付けているところです。

さて、2月13日に桜並木学園コミュニティ・スクール(CS)推進会議が並木小学校で行われました。今年度最後の推進委員会となりました。いよいよ令和7年度から桜並木学園がコミュニティ・スクール(CS)として、本格的に動き始めます。今年度実施してきたCS委員による会議だけでなく、学校・家庭・地域が連携して、さまざまな教育活動を行っていきます。ここ2年間、実施してきた学校教育パートナー制度等を整理し、さらに保護者だけでなく、地域の方もまきこみながら、並木小の特色ある教育を活性化できればと思っております。



子どもたちがよりよい学習環境や教育活動で健やかな成長ができるよう、これからも工夫・改善を図っていきます。今後とも、保護者の皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

校長 大村 千博

コミュニティ・スクール(CS)って何??

第3回 CS 推進会議



質問 1: コミュニティ・スクール何でしょうか。 **答え 1:** 学校運営協議会を設置している学校のことです。

質問 2: 学校運営協議会とは何でしょうか。 **答え 2:** 地域住民や保護者代表と学校がどんな子どもを育てていきたいのかという目標を共有し、権限(校長が作成する学校運営の基本方針を承認する・学校運営について教育委員会や学校に意見を述べるができる・教職員の任用に関して意見を述べるができる)をもって、学校運営や必要な支援に関することを協議する場のことです。

質問 3: コミュニティ・スクールを設置する目的は何でしょうか。 **答え 3:** 学校・保護者・地域社会が一体となって、子どもの教育に対する課題や目標を共有することで、社会全体が当事者としてよりよい教育の実現に向けて取り組むことができること。学校を支援する仕組みが充実することです。

質問 4: コミュニティ・スクールのメリットは何でしょうか。 **答え 4:** ①校長や教職員の異動があっても、学校運営協議会によって地域との組織的な連携・協働体制がそのまま継続できる「持続可能な仕組み」であること。②校長が作成する学校運営の「基本方針の承認」を通して、学校や地域、子どもたちが抱える課題に対して関係者がみんなで当事者意識をもち「社会総掛かり」で取り組めること。③学校運営協議会や熟議の場を通して、「目標・ビジョンを共有」できることです。 引用・参考文献:文部科学省「コミュニティ・スクールのつくり方」

学校評価アンケート結果より

12月実施の学校評価アンケート結果(保護者と児童の結果・自由記述抜粋)が17日にスクリーンから配信されましたが、ご覧いただけただでしょうか。本校HPにも掲載しています。さまざまな保護者からのご意見を、来年度もよりよい並木小学校をめざして、検討しました。さらに、学校予算や教育課程、時間、意義・目的などを考慮して、子どもたちにプラスとなることは改善(給食時の白衣・授業自由参観・音楽会の保護者入れ替え方法・タブレット使用ルール等)を進めてまいります。

また、教職員が今後の教育活動へ意欲をさらに高め、笑顔・元気に取り組めるような励ましやお褒めの言葉も多くいただき、校長として、大変感謝しております。それらの言葉は教職員にとって、心の支えとなる宝物です。教職員一同にフィードバックさせていただきました。どうもありがとうございました。今後も子どもたち・保護者・教職員の笑顔で幸せな学校をめざして、学校経営を進めていきたいと思っております!



「LEBER」心の健康観察 2月3日より全児童実施

保護者の方に毎日出席状況入力をお願いしている「LEBER」には、子どもたちの「心の健康観察」の機能があることをご存じでしょうか。3日より全児童が登校したらず、端末で本日の気分やフリーコメントに心配事や不調などを入力しています。そして、担任や養護教諭等が確認し、その日のうちに、子どもたちに声をかけたり、お話をしたりして、心と体をサポートしています。開始1カ月間に、多くの児童に担任や養護教諭から声掛けし、話を聞いております。話を聞いたことから、大きな問題に発展せずすんだこともありました。さらに、子どもが自分自身の心の健康状態を振り返り、心の大切さや体との関係に気づく力や周りに相談しようとする力を育むこともめざしています。

読み聞かせボランティアの皆さま おめでとうございます！



子どもたちにとっても有意義な朝や昼の読み聞かせの時間をつくってくださっている「読み聞かせボランティアグループ」の皆さまが昨年度に引き続き、「第36回茨城県教育広報・NIE コンクール教育広報紙部門」で『読み聞かせボランティアだより』が「優秀賞」を受賞しました。3月1日に水戸で表彰式が行われるとのこと。おめでとうございます。活動に興味のある保護者のみなさま ぜひ、読み聞かせの時間の子どもたちの生き生きとしたようすを見に来ていただければと思います。素敵な時間となると思います。

2年生 つくばFCによるサッカー体験授業

14日 2年生の体育の授業の一環として、つくばFCのスタッフによる出前サッカー体験授業が行われました。子どもたちはみんな集中して、練習をすることができました。最初はドリブルの練習から入り、ゴールへのシュートのやり方を学び、最終的には試合を楽しむことができました。

このように地域の方々や団体、保護者の方を積極的に講師として招き、並木小学校の教育活動をさらに活性化させていきたいと思っております。



3年生 クラブ見学

6日 クラブ見学を実施しました。4年生の4月からクラブ活動が始まるため、どのクラブに入りたいのかを考えるための材料集めです。3年生は興味を持ったクラブを見学しに行き、上級生の姿をキラキラワクワクしたまなざしでじっと見つめ、どんな活動をしているのかなど、多くの情報をメモしていました。来年度がとても楽しみなようです。



5年生 環境学習成果発表会での活躍

15日 全国展で「日本PTA全国協議会会長賞」を受賞したメダカチームの2名が霞ヶ浦環境科学センターで行われた環境学習成果発表会に参加し、中学生と高校生に交じって、口頭・ポスター発表を行いました。この日は、同時に環境フェスタなどが行われて、多数の来場者がいましたが、堂々と自分たちが行った自由研究の成果を発表することができました。舞台上で口頭発表を行ったり、大勢が見学する場でポスターセッションをしたりと、まるで学会に参加しているような非日常的な体験ができました。



6年生 JICA 国際交流出前授業

21日 JICA 国際交流出前授業が行われました。2021年に「マラウイ共和国」に理学療法士として、派遣されていた佐々木先生をお招きしました。佐々木先生は、理学療法士として病院や介護施設で働いているとき、社会的弱者などと接する経験を通して、若い世代の人がどうすれば社会貢献できるか考え、JICA 海外協力隊に申し込んだそうです。任国では首都にある公立病院で患者様のリハビリテーションおよび同僚への技術指導を行い、その時の経験をお話してくださいました。社会・国際貢献とはどのようなものであるかを深く考えることができた出前授業でした。6年生も海外で活躍したいと思っている子どもが大変多いようです。



3月の主な予定

- 3日(月) 安全点検日 4日(火) せいけつ調べ 5日(水) 6年生を送る会
7日(金) 健康手帳家庭返却 11日(火) 並木中学校卒業式
13日(木) 健康手帳回収期限 18日(火) 継志式(4~6年登校・1~3年自宅学習)給食なし
20日(木) 春分の日 24日(月) 修了式 給食なし
25日(火) 春季休業日~4月7日まで 31日(月) 離任式

